

インフルエンザワクチン予診票を用いた 小児のアレルギー自覚率調査

出典	長野中央病院医報 (2185-0143) 5 巻 Page9-11 (2012. 09) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2013371954)
著者	番場 誉
調査地域	長野県
調査時期	2011～2012 年
調査対象	0～20 歳
有効回答数	1546 人
診断方法	自己申告（既往）
有症率	7.2%
調査概要	インフルエンザワクチンの予診表にあるアレルギー項目の記載を調査した論文。自覚率を示しており正確な有症率ではないが、特別な準備や人員を要せずに容易かつ反復できる調査方法であるとしている。